



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場会社名 株式会社極楽湯 上場取引所 東
 コード番号 2340 URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川 隆丈
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 鈴木 正守 (TEL) 03-5275-0580
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,915	△0.3	476	135.7	361	43.8	194	7.9
28年3月期第2四半期	6,935	24.1	202	—	251	—	180	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △302百万円(—%) 28年3月期第2四半期 274百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第2四半期	14.63		13.04	
28年3月期第2四半期	14.07		12.61	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	18,361		6,543		26.7	
28年3月期	18,833		6,863		26.6	

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,900百万円 28年3月期 5,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年3月期	—		0.00		6.00	
29年3月期	—		0.00			
29年3月期(予想)					6.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	13,800	△2.3	650	44.8	500	44.6	220	△29.7	16.64	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	14,324,700株	28年3月期	14,142,600株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	917,675株	28年3月期	917,675株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	13,301,420株	28年3月期2Q	12,815,788株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境などについては底堅さが見られる一方で、設備投資や消費マインドは低迷が続いております。消費増税再延期表明により更なる悪化は回避できたかに見えたものの、イギリスのEU離脱という国民投票の結果を受け、グローバル金融市場は混乱し、アメリカの大統領選挙如何によっては政局の混乱が続くなど、先行き不透明感はより一層増大しております。

温浴業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向が引き続きみられる一方で、「安・近・短」の手軽なレジャーとしてのニーズは底堅いものがあります。しかしながら、人件費をはじめとする諸コストの増大など厳しい経営環境が続いております。更に、東京オリンピック開催を控え未だ建設費は高止まりしており、顧客満足度向上のための改装・改築を含む各種設備投資にかかるコストも増大傾向にあります。お客様の多様なニーズに対応できる企業としての総合力がより一層求められております。

このような状況の中、当社グループは、国内においては既存店の浜松佐鳴台店（静岡県）を新しい業態の温浴施設「RAKU SPA Cafe 浜松」として8月にリニューアルオープンいたしました。今後も新規出店及び既存店のリニューアルにも積極的に取り組んでまいります。また、海外においては中国武漢市に海外3店舗目となる直営店を出店（11月オープン）します。さらに、中国でのF C展開として、来期に2店舗新規出店する計画ですが、さらに出店できるように進めております。当社グループは、お客様のニーズの変化をいち早く感じとり迅速に対応できる企業として、総合力を強く意識したうえで、より一層の安心・安全そして高品質なサービスを国内外で提供すべく取り組んでまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,915百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は476百万円（前年同期比135.7%増）、経常利益は361百万円（前年同期比43.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は194百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

① 日本

当セグメントにおきましては、売上高5,269百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益（営業利益）は303百万円（前年同期比71.2%増）となりました。

当社の業績は、家族や人が集まるお盆や年末年始等の休暇に加え、台風・ゲリラ豪雨・猛暑・大雪等、季節的要因により変動する傾向があります。また、第2四半期（7月～9月）は、通期でみると大型連休となる夏休みやお盆があるため収益が期待できる時期であります。

当第2四半期の累計期間（4月～9月）の業績は、改装等により前年同期と比較し店休日が多く、売上高は若干下回る一方、前期に実施した様々な施策による効果を維持できたことに加え、天候にも恵まれたことで既存店客数は前年同期に比べ増加いたしました。また、お客様のニーズを捉えた積極的かつ効果的な施策を実施したことで改装等を行った店舗を除く既存店の売上高は増加いたしました。費用面では、エネルギーコストの低位安定が継続しており、コスト意識の徹底による生産性向上に努めた結果、セグメント利益（営業利益）は前年同期と比較し大幅に改善いたしました。

② 中国

当セグメントにおきましては、売上高1,685百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益（営業利益）は266百万円（前年同期比177.0%増）となりました。

当社グループの中国における業績も国内と同様に季節的要因による変動があり、第2四半期（4月～6月）は気温が上昇するので通期でみると業績は比較的厳しい時期（閑散期）と言えます。

当第2四半期の累計期間（1月～6月）の業績は、平成27年2月に中国上海市にオープンした海外2号店「極楽湯金沙江温泉館」が、フルに売上に寄与したこと、また1号店「極楽湯碧雲温泉館」との相乗効果もあり冬季の大盛況の勢いを継続できたことから、売上は増加いたしました。また、当第2四半期までの期間において新規出店はなく、出店に伴う一時的な出店費用が発生しなかったことから収益面でも大幅に改善しました。その結果、当第2四半期の累計期間（1月～6月）のセグメント利益（営業利益）は前年同期と比較し大幅に改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ472百万円減少し18,361百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済に伴う現金及び預金が1,054百万円減少したことと、建物及び構築物が575百万円減少したことや、海外3号店の建設工事により建設仮勘定が1,053百万円増加したことによるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ152百万円減少し11,817百万円となりました。これは主に、短期借入金が600百万円、前受金が128百万円、買掛金が118百万円減少し、海外3号店の建設資金の調達により長期借入金が678百万円増加したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ319百万円減少し6,543百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が268百万円減少したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、26.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、当初の計画通り順調に推移しております。しかしながら、中国においては季節的変動(温暖化)による収益減少や株価下落(上海株式市場)を起因とする景気の冷え込み、為替変動等不透明な状況があり、国内においては今後もエネルギーコストが上昇する可能性や、既存店の改装計画等があることから、平成28年5月13日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,766,334	4,711,396
売掛金	166,364	141,951
未収入金	12,984	5,277
たな卸資産	77,279	69,468
繰延税金資産	67,066	70,089
その他	203,858	259,111
流動資産合計	6,293,887	5,257,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,233,770	8,658,608
工具、器具及び備品(純額)	675,707	633,257
土地	182,051	182,051
建設仮勘定	49,511	1,103,284
有形固定資産合計	10,141,040	10,577,201
無形固定資産		
無形固定資産	279,713	259,876
投資その他の資産		
投資有価証券	29,020	28,955
長期貸付金	59,441	49,827
繰延税金資産	444,974	443,422
敷金及び保証金	868,636	1,009,537
その他	606,197	580,692
貸倒引当金	△4,500	-
投資その他の資産合計	2,003,771	2,112,434
固定資産合計	12,424,525	12,949,512
繰延資産	115,127	154,554
資産合計	18,833,540	18,361,361

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	419,407	300,764
短期借入金	800,000	200,000
1年内償還予定の社債	49,000	49,000
1年内返済予定の長期借入金	1,675,760	1,507,180
未払金	813,806	990,905
未払法人税等	62,175	114,378
前受金	1,041,694	913,042
賞与引当金	29,265	48,319
その他	609,178	431,491
流動負債合計	5,500,288	4,555,082
固定負債		
社債	178,500	154,000
長期借入金	5,299,930	6,147,240
退職給付に係る負債	108,288	112,598
資産除去債務	458,076	461,293
その他	425,274	387,452
固定負債合計	6,470,068	7,262,583
負債合計	11,970,356	11,817,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,412,602	2,438,790
資本剰余金	2,373,382	2,399,570
利益剰余金	358,125	473,441
自己株式	△356,138	△356,138
株主資本合計	4,787,971	4,955,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△929	△994
為替換算調整勘定	214,891	△54,095
その他の包括利益累計額合計	213,961	△55,090
新株予約権	72,829	82,615
非支配株主持分	1,788,420	1,560,506
純資産合計	6,863,183	6,543,696
負債純資産合計	18,833,540	18,361,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,935,580	6,915,564
売上原価	6,165,536	5,868,245
売上総利益	770,043	1,047,318
販売費及び一般管理費	567,762	570,536
営業利益	202,280	476,782
営業外収益		
受取利息	7,940	5,862
受取家賃	9,774	9,298
為替差益	40,269	-
デリバティブ評価益	-	12,484
協賛金収入	39,092	23,537
その他	21,333	18,327
営業外収益合計	118,409	69,510
営業外費用		
支払利息	51,690	52,933
為替差損	-	112,360
その他	17,520	19,290
営業外費用合計	69,211	184,584
経常利益	251,478	361,708
特別利益		
固定資産売却益	77,362	-
資産除去債務戻入益	22,163	-
新株予約権戻入益	3,431	4,392
人事制度変更に伴う利益	22,602	-
投資有価証券売却益	-	2,000
その他	210	-
特別利益合計	125,769	6,392
特別損失		
固定資産除却損	5,528	0
契約解約損	3,950	1,777
特別損失合計	9,479	1,777
税金等調整前四半期純利益	367,767	366,323
法人税、住民税及び事業税	141,059	124,214
法人税等調整額	8,388	△10,300
法人税等合計	149,447	113,913
四半期純利益	218,320	252,409
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,948	57,743
親会社株主に帰属する四半期純利益	180,371	194,665

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	218,320	252,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	385	△65
為替換算調整勘定	55,703	△554,645
その他の包括利益合計	56,088	△554,710
四半期包括利益	274,409	△302,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,165	△74,386
非支配株主に係る四半期包括利益	65,243	△227,914

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	367,767	366,323
減価償却費	475,127	505,104
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,970	4,310
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	△4,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,409	20,678
受取利息及び受取配当金	△9,130	△7,612
新株予約権戻入益	△3,431	△4,392
支払利息及び社債利息	54,999	55,119
為替差損益(△は益)	△29,091	112,360
固定資産除売却損益(△は益)	△71,834	0
資産除去債務戻入益(△は益)	△22,163	-
売上債権の増減額(△は増加)	245,455	△41,100
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,327	5,714
未払消費税等の増減額(△は減少)	73,345	△77,589
仕入債務の増減額(△は減少)	△77,560	△105,243
建設協力金の賃料相殺	18,654	18,704
未払金の増減額(△は減少)	93,227	△173,416
その他	△111,661	△172,040
小計	972,939	502,420
利息及び配当金の受取額	6,049	3,028
利息の支払額	△52,715	△53,134
法人税等の支払額	△162,322	△77,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	763,950	375,145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△359,022	△273,430
定期預金の払戻による収入	176,043	-
有形固定資産の取得による支出	△927,152	△1,137,140
有形固定資産の売却による収入	200,000	-
差入保証金の差入による支出	△2,752	△158,341
差入保証金の回収による収入	23,961	4,109
貸付金の回収による収入	9,111	14,114
建設協力金の回収による収入	5,775	5,775
その他	△13,460	1,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△887,496	△1,543,734

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	△600,000
社債の償還による支出	△57,900	△24,500
長期借入れによる収入	750,000	1,650,000
長期借入金の返済による支出	△1,220,214	△971,270
割賦債務の返済による支出	△50,016	△68,678
株式の発行による収入	37,637	41,024
配当金の支払額	△75,985	△76,208
その他	△1,446	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317,925	△49,633
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,732	△84,956
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△424,739	△1,303,179
現金及び現金同等物の期首残高	3,824,900	5,766,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,400,160	4,463,155

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,251,111	1,684,469	6,935,580	—	6,935,580
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,466	—	31,466	△31,466	—
計	5,282,577	1,684,469	6,967,046	△31,466	6,935,580
セグメント利益又は損失(△)	177,493	96,338	273,832	△71,551	202,280

(注) 1 セグメント利益の調整額△71,551千円は、セグメント間取引消去19,621千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△91,172千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第2四半期連結累計期間には、平成27年1月1日から平成27年6月30日までの業績が反映されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,230,068	1,685,496	6,915,564	—	6,915,564
セグメント間の内部売上高又は振替高	39,725	—	39,725	△39,725	—
計	5,269,793	1,685,496	6,955,289	△39,725	6,915,564
セグメント利益	303,797	266,866	570,663	△93,881	476,782

(注) 1 セグメント利益の調整額△93,881千円は、セグメント間取引消去2,745千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△96,626千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第2四半期連結累計期間には、平成28年1月1日から平成28年6月30日までの業績が反映されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。